

< もくじ >

1. 2021年 年頭の辞	1
2. シニア社会学会特別講座「Zoomの効果的なプレゼンのコツ～操作方法」のご案内	2
3. 第2回連続講座「シニアの暮らし、ジェンダー」開催のお知らせ	
4. 第6回研究会合同イベント「全国初の“終活互助”へのチャレンジ！」開催のお知らせ	
5. 第7回シンポジウム「あれから10年～わたしたちはフクシマを忘れない」の報告	3
6. 研究会からのお知らせ	4
7. 研究会からの概要報告	5
8. 事務局からのお願い	6

## 1. 2021年 年頭の辞

明けましておめでとうございます。皆様は、新年をどのようにお迎えになりましたか。おそらく多くの方は、故郷への帰省を差し控え、初詣や初売りに出かけることなく、ひたすら自宅に閉じこもりの日々ではなかったでしょうか。

言うまでもなく、こうした異常事態を招いた原因は、新型コロナウイルスの感染拡大にあります。一昨年の末、武漢から始まった新型コロナ・ウイルスの感染拡大は、あっという間に全世界に広がりました。昨年2月には、ダイヤモンド・プリンセス号における集団感染が報じられましたが、大部分の日本人にとってはよそ事にすぎませんでした。

一部の専門家は、さらなる感染拡大に対する警告を発していましたが、ウイルスは熱に弱いから気温が上昇する夏までには収束するだろうとか、遠からずして治療薬やワクチンが開発されるだろう、といった楽観ムードがあったことは否めません。しかし、感染拡大が止まることはなく、秋以降はいっそう感染が拡大しています。

一般社団法人シニア社会学会では、ここ数年、大会における基調講演やシンポジウムを通じて、社会における格差と分断を解消する方策をさぐってまいりました。解決策としての鍵がコミュニティにあるという結論に達し、共生型のコミュニティを創出することの必要性を痛感するようになった矢先に、新型コロナに遭遇するとは、まことに皮肉なことです。

新型コロナの感染拡大は、ICTを活用したリモート・ワークやオンライン会議を増やす一方で、医療・介護・清掃・交通・物流などリモート・ワークに馴染まないエッセンシャル・ワーカーにしわ寄せをもたらしました。日銀による株の買い支えによって金融資産を増やす人がいる一方で、コロナのために職も住居も失う生活困窮者も増加しています。

新型コロナに関して注目すべきは、感染者やその家族への誹謗・中傷です。また、集団感染のあった医療機関や介護施設で働く人々に対する差別的な態度も目につきます。こうした態度は、かつてはハンセン病患者とその家族に対して、近年では原発事故に遭遇した福島からの避難者に対して向けられたものと共通しています。

新型コロナ・ウイルスの感染拡大は、新たな格差と分断を生じさせました。経済的な格差だけでなく、差別的な意識を変えることが新たな課題でもあります。共生社会を実現するためには、自分と異なる存在を受け入れ、対等な関係を築くことが必要です。シニア社会学会では、こうした難しい課題の解決に向けて新たな歩みを進めるつもりです。会員および非会員の方々のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



2021年1月吉日

一般社団法人シニア社会学会会長 袖井孝子

## 2. シニア社会学会特別講座「Zoomの効果的なプレゼンのコツ～操作方法を一緒にトライしませんか？」のご案内

新型コロナウイルスの感染拡大を機に、これまで対面の集合形式で開催していた研究会や講演・講義を遠隔でのオンライン形式に切り替える動きが一気に進みました。こうしたオンラインでのプレゼンテーションを難しいと感じる方もいらっしゃると思いますが、資料の作り方を少し工夫したり、オンラインツールの機能を活用することで「聞き手を飽きさせない」プレゼンにすることができます。本講習会では、もっとも多く利用されているZoomの基本的な機能（拍手、チャット、投票等）を実際に使ってみながら、初心者でも簡単にできる効果的なプレゼンテーションのコツをご紹介します。

(1) 講師：八巻睦子（会員、ユニアデックス株式会社未来サービス研究所）

(2) 日時：2021年1月30日（土）14：00～15：15

(3) 方法：Zoomによる開催

(4) 参加費：無料（どなたでも参加できます）

申し込み：2021年1月28日（木）までに、HPあるいはチラシに記載の申し込みフォーム、またはお名前、連絡先メールアドレスを記して、eメールでシニア社会学会事務局 [jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) にお申込みください。

## 3. 第2回連続講座「シニアの暮らし、ジェンダー ～家庭科が生きてくる、市民大学オンライン講座の試みから～」開催のお知らせ

2020年度の連続講座は、「コロナと共生する社会」の試みとしてZoomによる開催となりました。第2回の連続講座では、高校で化学の教員から家庭科の教員に転身したユニークな経験をお持ちの当学会会員小平陽一さんが、地域での実践経験に基づいた興味深いお話をされます。ぜひ多くの皆さまにも、ご参加いただきたくご案内いたします。

(1) 日時：2021年2月13日（土）14：00～15：15

(2) 開催方法：Zoomによるオンライン講座

(3) 講師：小平陽一（当学会運営委員、さやま市民大学講師、蚊とんぼファーム代表）

(4) 参加費：無料

(5) 申し込み方法：シニア社会学会のホームページの「第2回連続講座申込フォーム」からお申し込みください。

お申込みフォームは URL：<http://www.jaas.jp/>

※ 詳しくは、添付のチラシをご覧ください。

※ お問い合わせ eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp)

## 4. 第6回「研究会合同イベント：全国初の“終活互助”へのチャレンジ！」開催のお知らせ

「人生100年時代」、終活が身近な問題となってきました。しかし、従来の施設では賅えないことが予想され、民間の施設もかなりの費用が掛かります。新たな工夫が求められています。

昨年3月に開催予定であった第6回研究会合同イベントは延期されていましたが、今年3月14日にオンラインで開催されることになりました。皆様、ふるってご参加ください。

(1) 日時：2021年3月14日（日）14：00～16：00

(2) 開催方法：Zoomによるオンライン開催

(3) 参加費：無料。

(4) 申し込み方法：3月12日（金）までに、以下のURLの申込フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/y5ftzyVCorkSUKdr6>（左をクリックする）

またはeメールでシニア社会学会事務局にお申込み下さい。

◆基調講演 「在宅で看取る・看取られるために」

川村匡由（ガバナンス研究会座長・武蔵野大学名誉教授）

◆発表事例

石井三智子（日本社会事業大学講師）

江幡五郎（元武蔵野市高齢福祉課長）

野上隆憲（NPO地域政策ネットワーク理事長）

◆コメンテーター 袖井孝子（シニア社会学会会長） 川村匡由（ガバナンス研究会座長）

※ 詳しくは、添付のチラシをご覧ください。

## 5. 第7回シンポジウム「あれから10年～わたしたちはフクシマを忘れない：富岡町と浪江町の10年目」の報告

「わたしたちはフクシマを忘れない」シンポジウムは、2015年3月から開始され、今回第7回を迎えました。第2回目以降は早稲田大学総合人文科学研究センターとの共催シンポジウムとして開催されております。今回はオンデマンド開催となりましたが、地域を超えての参加が可能となったため、日本各地からの参加が可能であったため、108名の参加者となりました。

(1) 日 時：2021年1月10日（日） 14:00～17:00

(2) 場 所：早稲田大学外山キャンパス第1会議室を拠点とするZoom ウェビナーによる開催

(3) 話題提供者：平山 勉（富岡町）、原田雄一（浪江町）、大坊雅一（浪江町）

(4) コメンテーター：高木竜輔、松園、辻

(5) 司 会：川副早央里（東洋大学社会学部社会学科助教）

松村 治（早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員）

(6) 共 催：早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代社会における危機と共生社会創出に向けた研究〉部門

10年目を迎えるフクシマ原発被災地である、双葉町、富岡町、浪江町の現在の町の様子を、平山 勉さんに撮影していただいた動画で見せていただいた後、富岡町の平山さん、浪江町の前田さん、大坊さんにご自身のこれまでとこれからについて報告いただきました。

平山さんは、富岡町で旅館を営み音楽プロデューサーの仕事をしてしていますが、双葉郡の新たな街づくりを目指して、「ふあばいんふぉ」「双葉未来会議」を運営し、情報発信とまちづくり活動を続けています。また、頼まれれば、空き家の見回りや掃除、家の解体など、何でも引き受けてやる人です。困っている人がいれば何とかしてあげたいし、人の喜ぶ顔が見られれば生きがいを感じると思います。地元に住居することは快適であるからでも戻ることには意義があるからでもなく、むしろ「意地」だといいます。平山さんは、復興ではなく「ゼロからの新たなまちづくり」という意識で活動しているといいます。

時計店を二本松市で営んでいる原田さんは、商店会の会長をしてきた経験から帰れる条件が整ったら「皆と一緒に帰る」計画を立て、町外でコミュニティを維持するためのNPO 団体をつくり努力を重ねてきました。しかし国の方針に従い、県、町自治体が一方的に避難指示解除をして希望者に帰還を促すなど、自分たちの計画が受け入れられず、自分たちの望むコミュニティに必要な条件カードを使うことができなかったことに大きな失望感を味わっているといいます。それでも二本松で店を開いているのは近くに仲間がおり今でも古くからの浪江のお客さんとの交流があるからだといいます。

大坊さんは浪江で「うなぎ店」を経営されていたのですが、8年にわたって東京に避難されていて、東京で居住しつつも浪江に店を開くのは条件が整ったからではなく、浪江での店の需要を満たしたいからだといいます。仕入れの量を相談する従業員は、頭の中では前回の仕入れ量との比較をするつもりで10年前の前年のことを思い浮かべていたといいます。大坊さん自身は、東京から浪江に向かう途中に、また浪江から東京に向かう途中に生活のスイッチが切り替わるといいます。インフラが整っても、鉄道が通じてJR 浪江駅は特急が止まっても無人駅であり、復旧途上とは感じて復興という言葉は思い浮かばないといいます。

コメンテーターからは、区画整理や鉄道、道路、水道、電気などのインフラや集合住宅が建ち、若干の店が開店することが復興とされがちであるが、人が暮らしていけると感じる条件が整わない限り「帰りたくても帰れない」のであり、復興とは呼べないことがよく分かったという意見がありました。また、この10年の住民のさまざまな努力中で、ジェンダー差別やその他の差別や格差の問題としてどのようなことがあったか、見落とされることになる人びとが抱えている問題としてどのようなものがあるのか、調査に来る研究者や学生に何を期待するかなど多くの質問があり、参加者からの質問もいくつか出ましたが、時間がなく打ち切られることになったことは残念でした。

### <アンケートの結果から>

終了時にアンケート・フォームが出るようになっており、参加者108名のうち34名の方が回答してくれました。その中からいくつかご紹介しておきます。

- \* 取材者として被災地に行っていますが、現地の方のお話をじっくり聞く機会が少ないので非常に参考になりました。特に「復興という感覚はない」という声が多く聞かれたのが印象的でした。
- \* 内容としては、質的調査の勉強になったと同時にその資料性としても素晴らしいものであったと感じました。普段当たり前のように「復興」という言葉が使われていますが、その安直な言葉にもう一度見直す機会を与えてくれたと思います。
- \* 研究者の卓上空論ばかりでなく、そこに住む当事者の話を聞いてよかった。
- \* 被災地には、神社の縁日支援ボランティアでお手伝いしていたので、お話を聞きたくて、申し込みました。復興に向けてベクトルの向きが異なると、被災者同士でも距離を感じるのかと思いました。
- \* せっかく全国各地から参加できるZoomなのにその利点が十分生かさせていないように思いました。

(長田 記)

## 6. 研究会からのお知らせ

### (1) 第16回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年1月20日(水) 15:00~17:00
  - 2) 場 所：Zoom 開催
  - 3) 概 要：特別講座の内容検討ならびに予行
- ※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

### (2) 第128回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年1月27日(水) 18:00~20:00
  - 2) 報告者：畑 亮輔 (北星学園大学准教授)
  - 3) テーマ：「福祉人材確保の現状と課題～北海道における実情と取り組みを例に～」
  - 4) Zoomで開催いたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。  
阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com
- ※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

### (3) 第75回「シニア社会のリテラシー」研究会

1月28日(木)開催予定の例会は、新型コロナ・ウイルス感染予防のため、中止致します。3月まで休会とし、4月22日(木)再開を予定しています。

※ お問い合わせは、島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)までお願い致します。

### (4) 第12回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年1月30日(土) 18:30~20:00
  - 2) 場 所：きゅりあん(品川区立総合区民会館)
  - 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
  - 4) テーマ：市民が市民を支える社会をつくります
- ※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme\_masumi@yahoo.co.jp)迄お願い致します。

## (5) ライフプロデュース研究会からのお知らせ

コロナ禍の中、「ライフプロデュース」研究会は、Zoomにて開催を試みたもののメンバーの諸事情でなかなか月例会開催に至らず。しばらくは、無理に集うことなく推移を見守ることになりました。

研究会のブログは、新連載、「V I V A ! 生き生きと輝き続ける後期高齢者の方々」と題し、大先輩方のインタビュー記事の連載を始めたところです。(隔月投稿予定)

第1回はコチラからご覧いただけます。↓

<http://jaas-lifeproduce.sblo.jp/article/188233285.html>

その他、エイジフリー、ジェンダーフリー、共生社会などのテーマで、研究会メンバーが何人か集って、ブログにて旬な話題を提供していく予定を検討中です。

因みに、ブログのアーカイブが検索しにくいという複数の読者の方からのご指摘があり、これを機会に、少し過去の記事を速やかに見られるように手を加えました。

アーカイブはコチラの投稿からご覧いただけます。↓

<http://jaas-lifeproduce.sblo.jp/article/188075505.html>

(中村 記)

## 7. 研究会からの概要報告

### (1) 第15回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時：2020年12月16日(水) 15:00~17:00

2) 場 所：Zoom 開催

3) テーマ：「ZOOM レクチャー改善」 白熱教室スタイル講義へ(齋田さんの説明)

・TV番組のように「演出」が必要：一般解としての5項目

①15分短編：長さを短く、せいぜい15分で3章の構成

②冒頭は内容予告編：最初に結論とトピックを提示する

③ビジュアル多用は当たり前：できれば動画。Youtubeの時代ですから。

④登場人物は多数：講義はショー。ゲストタレント、ボケと突っ込みの演出。

⑤受講者参加機会の仕掛けが重大：講師からの質問、賛否挙手、参加者同士の討論・・・

●技術的な一般論だけでも、当たりの改善策が見える。

●放送大学での講義が急速に進化しているのは驚異的。ICT活用を目指すのは自明!

\*参考資料：マイケル・サンデル「白熱教室：正義」、放送大学：各種講義。

・実際に作って見せることが一番効果的

ICT活用講義をゼロから教師一人で作るのは困難。

通信大学市場では専門家組織が協力して初めて可能。

とはいえ難しい技術は不要。簡単なツールを教師に提供できれば一人でも構築可能。

・安田さんのコメント

後で思い出すのは「キーワード」と「キービジュアル」である。

連続講座第1回の講座は一次情報が豊かだったレクチャーは聴いていて興味深かった。聴講者も

その体験を聞いて納得したのでしょう。

(森 記)

### (2) 第11回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

1) 日 時：2020年12月19日(土) 18:30~20:00

2) 場 所：きゅりあん(品川区立総合区民会館)研修室

3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)

4) テーマ：市民が市民を支える社会をつくります

新型コロナ感染症によるディスタンスに気を使いました。しかし、当日過去最高の15人の参加者を迎え盛會に終わりました。「アワーズ」の協力や「大人食堂」からの参加者があり、活発な意見が出て、普段と違う内容になり、今後の方向を決めるうえでの刺激にもなりました。(鈴木 記)

## 8. 事務局からのお願い

### <会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願い致します。

なお、電話による会員情報変更や退会の連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、メール・郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

### <警戒宣言中の事務所の開室について>

事務局は、緊急事態宣言を受け2021年1月8日（金）～2月7日（月）まで休室とします。その後は様子を見て開室日程をお知らせします。その間、電話・FAXはご利用できませんのでご容赦ください。ご不便をおかけしますが、ご用件、お問合せは、出きるかぎりメールでお願いいたします。

新年を迎えて早20日が過ぎました。しかし新型コロナ・ウイルス感染拡大はいまだとどまるところを知りません。皆さまそれぞれ自粛されていることと存じますが、いつでも自らが感染する恐れが薄らぐことはないような状況です。今後とも十分な注意を払っていただきますようお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人シニア社会学会・事務局（水、および月または金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/